

学校（自己）評価（平成28年度）

平成29年6月作成

1・本園の教育目標

- ① 心身ともに逞しい子どもの育成
- ② おおらかで、明るい子どもの育成
- ③ 知性豊かで、賢い子どもの育成

〒901-0301

- ・沖縄県糸満市字阿波根746番地
- ・学校法人 津山学園
- ・認定こども園 津山幼稚園
- ・TEL 098-994-6714

2・平成28年度主要目標

- 1・本園教育目標の達成に努力する。
- 2・文部科学省幼稚園教育要領を踏え、本園の特色（動き・リズム・言葉感覚）を加味し、豊かな人間性の根っこを培うよう努力する。
- 3・平成28年度の保育行事計画を設定し、年間、学期、月別に活力に満ちた保育を実践し、子どもたちの健やかな成長を育む。
- 4・園児定員充足率100%を目指し、地域の子育て支援に努力する。
- 5・教職員の質の向上を目指して、内・外研修を増やし幼児教育に対する認識と理解を深める。
- 6・認定こども園への移行を記念して、園章ホルダー作成、沿革小冊子発行準備、兼城教育センター卒園者（功労者）表彰を行う。
- 7・特色ある表現活動の実施。
- 8・所有地の有効活用を研究する。

3・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
1・本園教育目標の達成に努力する。	本園の教育目標である「心身ともに逞しく、明るく、知性豊かで賢い子」の土台づくりに向けて、体系立った年間・月間・日ごとの保育計画を設定実施し、記録・反省しながらよりよい保育を遂行した。
2・文部科学省幼稚園教育要領を踏え、本園の特色（動き、リズム、言語感覚）を加味し豊かな人間性の根っこを培うよう努力する。	人間性の根っこを培うために、幼稚園教育要領の理解を全職員で積極的に推進し具体的な場面について話し合った。豊か感性を育むためのことば、動き、リズムを基調とした環境設定に配慮して教育内容の精選と充実を図った。
3・平成28年度の保育行事計画を設定し、年間、学期、月別に活力に満ちた保育を実践し、子どもたちの健やかな成長を育む。	母の日、父の日のエレクトーンコンサートの実施や、アポロ科学実験ショーなど子どもたちの興味関心をそそる行事を実施した。また、園の畑で栽培したサトウキビをつかい黒糖造りを体験させることにより、食育による食文化の継承にもつながった。
4・園児定員充足率100%を目指し、地域の子育て支援に努力する。	本園の園児定員は210人である。これに対して平成27年5月1日現在の園児数は210人で定員充足率100%となり計画目標を達成し、地域の子育て支援にも貢献した。

5・教職員の質の向上を目指して、内・外研修を増やし幼児教育に対する認識と理解を深める。	教職員の質の向上を目指し、園内外研修を増やし教職員の心得、教育技法、コミュニケーション能力を更に高めた。特に子どもたちの体力づくり、表現活動、そして人間関係面には力を注ぎ、健やかな成長をみる事ができた。
6・認定こども園への移行を記念して、園章ホルダー作成、沿革小冊子発行準備、兼城教育センター卒園者（功労者）表彰を行う。	平成29年2月の音楽リズム発表会を格式高いものにし、功労者表彰も実施、併せて認定こども園移行記念の園章ホルダーを園児に配った。小冊子の編集も手掛け平成29年7月には発行できるように編集作業を行っている。
7・特色ある表現活動の実施	津山幼稚園愛好エイサーをCD化し郷土芸能の継承を図った。 津山空手ミュージカルを製作し従来から取り組んでいる「型」の伝授と併せて子どもたちの表現活動が一層充実した。
8・所有地の有効活用を研究する	駐車場スペースを拡大するため盛り土をすすめている。

4・学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

幼児教育の本旨を念頭に置き、自園の教育目標達成を目指して、全職員努力した。幼稚園教育要領の理解に努め、本園の特色を加味して、計画・実施・反省・評価をくりかえし、よりよい保育を追求した。少子化の中、定員充足率100%であり（H27年度全国平均は74.7%）本園教育に対する、地域並びに保護者からの評価も良好で、概ね目標を達成できたと評価している。

5・今後の取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組みの方法
分園・小規模園の研究。	分園・小規模園の調査研究をして、地域の子育て支援にも貢献していき、当園の安定した園児確保につなげる。
内外研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	各種研修会や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、職員会等において提供し、共有化を図るようにしていく。
認定こども園移行（幼稚園型）に伴う事務処理の合理化と教育・保育の活性化を図る。	登降園システムの運用と保育料管理システムの導入をする。 教職員増員に伴って業務分掌を明確にし、効率的な業務が行えるようにする。
保育環境の整備に力を入れる。 園舎の保全美化、備品の補修改善を行う。	C館の内外の塗装をして保育をより明るく伸び伸びと展開できるようにする。 備品の補修、補充をして保育環境の充実を図る。

6・財務状況

- ・ 当園の財務指標は日本全国の私立幼稚園財務分析指標(全日私幼連要覧)から見て良好である。
- ・ 税理士、所管庁の指導をうけながら、学校法人会計基準を踏まえて適切に処理している。
- ・ 公認会計士監査、園監事による監査により、適正に運営されていると認められている。